

『地域を活かす つながりのデザイン - 大阪・上町台地の現場から』を発行

弘本由香里

編者: 上町台地コミュニティ・デザイン研究会

執筆: 秋田光彦、渥美公秀、オダギリ・サトシ、小原憲太郎、加茂みどり、宋悟、高田光雄、筒井洋一、新川達郎、早川厚志、弘本由香里、富士原純一、山口洋典、六波羅雅一（50音順、下線は編者）

発行所: 創元社（tel.06-6231-9010）

体裁・仕様: A5版・並製 248頁 帯の文を鷺田清一氏（大阪大学総長）が執筆

価格: 本体 2000円 + 税

発行日: 2009年4月10日（3月19日完成）

出版の経緯:

2007年、（財）大学コンソーシアム京都、同志社大学、大阪ガス（株）エネルギー・文化研究所（CEL）が連携し、CEL 寄付講座「コミュニティ・デザイン論」を同志社大学に単位互換授業として開設した。これは、コミュニティ・デザインの実験場ともいえるべき、大阪・上町台地界隈で取り組まれてきた、産・学・地域協働の多彩な実践と研究から見出した知恵を、フィールドを越えて共有し、将来のまちづくりのために活かしていこうという試みである。現場から社会の変化に向き合ってきたまちづくりの実践者たちと複数の大学・企業の研究者が登場する。本書は、その連続講座を元にしながら、大幅な加筆修正を行い、さらに書き下ろしを加えて構成し出版するものである。



内容(目次は次頁に記載):

社会の変化とともに、まちづくりの主題や担い手のあり方は大きく変化している。まちの暮らしを持続的に支えていく新たな仕組みづくりが求められ、既存の地域資源を活かしてコミュニティの力を育んでいくまちづくりが、各地で模索されている。しかし、個人化

や多様化が進む現代の暮らしの中で、人と人や人と場所の関係を再構築していくためには、従来の枠組みを超えるまなざしや知恵が欠かせない。そこにつながるデザイン（コミュニティ・デザイン）という共通項が浮かび上がってくる。

本書で具体的に取り上げているまちの現場は、大阪の都心部を南北に走る上町台地境界である。長屋再生、コリアタウンと多文化共生、地域の拠点としての寺院、地域防災やコミュニティ・ツーリズム、人と場所をつなぐネットワーキングの試みなど、コミュニティ・デザインの実験場としての、数々の知恵と教訓の集積がある。上町台地の現場から、産・学・地域協働の多彩な取り組みを展開する実践者と研究者が、それぞれの立場や地域を越えてコミュニティ・デザインの知恵を分かち合い、まちに向き合って生きるコミュニティ・デザイナーとは何かを問いかける。

CEL の関わり：

本書で紹介されているネットワーク組織「上町台地からまちを考える会」(2003年発足)に、立ち上げ準備期から CEL・弘本が参加。上町台地境界をフィールドに、多様な背景を持つまちづくりの実践者(からほり倶楽部・應典院・コリア NGO センター等)や大学(大阪大学・京都大学・同志社大学等)の研究者及びその関係者等と協働で、持続可能なまちづくりと都心居住のためのコミュニティ・デザインの実践・研究に取り組んできた。個々の活動の蓄積とネットワークによる成果をもとに、CEL 寄付講座「コミュニティ・デザイン論」を同志社大学に開設(2007年から)。同出版に向けて編集委員会(上町台地コミュニティ・デザイン研究会)を組織し、同志社大学大学院・山口准教授と CEL・弘本が編集幹事(事務局)を務めた。

同書の「はじめに」と「第3章補論」と「第7章」を CEL・弘本が、「第7章補論」を CEL・加茂が執筆。上町台地に立地する大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 での取り組みを中心に紹介している。

目次構成：

第1章 まちを見つめる

市民社会におけるコミュニティ・デザイン

新川達郎(同志社大学大学院総合政策科学研究科教授)

第2章 おもいを馳せる

コミュニティの非日常から日常へのダイナミックス

渥美公秀(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授)

第3章 知恵に学ぶ

地域の歴史・文化を再構築する 空堀・長屋再生

六波羅雅一（六波羅真建築研究室代表、からほり倶楽部代表理事）

補論 大阪長屋の歴史と再生ムーブメントに学ぶもの

弘本由香里（大阪ガス（株）エネルギー・文化研究所客員研究員）

第4章 ちがいに気づく

マイノリティの声で暮らしを変える コリアタウン・多文化共生

宋 悟（（特活）コリア NGO センター代表理事）

補論 多文化共生とまちづくり

高田光雄（京都大学大学院工学研究科教授）

第5章 いのちを見つめる

お寺の資源力を活かす 市民参加型寺院・應典院の実験

秋田光彦（大蓮寺・應典院住職）

補論 現代における「commons」としての宗教施設の可能性

山口洋典（應典院主幹・同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授）

第6章 いとなみを結ぶ

ネットワーク型まちづくりでつながる・まとまる・ひろがる

山口洋典（應典院主幹・同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授）

補論 地域資源と人とつなぐ「上町台地.cotocoto」が目指したもの

小原憲太郎（（株）インデックス事業開発局）

第7章 おもいをつなぐ

ミクロな拠点づくりからネットワークを補完・拡張する NEXT21/U-CoRo プロジェクト

弘本由香里（大阪ガス（株）エネルギー・文化研究所客員研究員）

補論 NEXT21 のコンセプトと住棟内コミュニティ実験の成果

加茂みどり（大阪ガス（株）エネルギー・文化研究所主任研究員）

第8章 未来を見据える

「ひと」と「まち」の関係性とcommonsの視点 高田光雄（京都大学大学院工学研究科教授）

コラム

上町台地と減災 つながりのデザイン

早川厚志（まちづくり工房代表、からほり倶楽部事務局長）

地域資源を活かしたコミュニティ・ツーリズムの可能性

小田切聡 ((株)インプリージョン ツーリズムプロデューサー)
地域SNSが地域に根差すには 筒井洋一(京都精華大学人文学部教授)
持続的地域コミュニティ構築への一提言 富士原純一((有)富士原文信堂代表取締役)

上町台地コミュニティ・デザイン研究会(編集委員会)

渥美公秀(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授)
高田光雄(京都大学大学院工学研究科教授)
新川達郎(同志社大学大学院総合政策科学研究科教授)
弘本由香里(大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所客員研究員)
山口洋典(應典院主幹・同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授)

編集幹事/事務局

弘本由香里/大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所
山口洋典/同志社大学大学院総合政策科学研究科山口洋典研究室

以上